新製品開発状況（2026年10月23日現在）

・米国を含む複数の国で開発している場合、「地域/国」にグローバルと記載しています。
・「地域/国」がグローバルの場合、全ての地域・国のうち、最も進んでいる開発段階を記載しています。
・「開発段階」が申請以降の場合、「地域/国」は、原則、日本、米国、欧州、中国、アジア（日本、中国を除く）を記載しています。（すべての地域/国の開発状況を記載しているわけではありません）
・「変更点」の〇は前回発表（2026年7月24日時点）から変更があったことを示しています。

中枢神経

治験コード 製品名 （一般名）	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
ND0612 （レボドパ/カルビドパ）	持続皮下注投与ポンプ製剤	パーキンソン病	グローバル	フェーズ 3		自社創製品
			米国	申請		
MT-0551 ユプリズナ （イネビリズマブ）	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤	重症筋無力症	日本	承認 （2026年9月）	〇	アムジェン（米）から導入、共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体	脊髄損傷	グローバル	フェーズ 2		大阪大学（日）と共同で創製
		HTLV-1関連脊髄症	日本	フェーズ 1		

免疫炎症

治験コード 製品名 （一般名）	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-0551 ユプリズナ (イネビリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤	IgG4関連疾患	アジア	申請 （2026年9月）	○	アムジェン（米）から導入、共同開発
		全身性強皮症	日本	フェーズ 3		アムジェン（米）から導入
MT-7117 (デルシメラゴン)	選択的メラノコルチン1受容体作動剤	赤芽球性プロトポルフィリン症、 X連鎖性プロトポルフィリン症	グローバル	フェーズ 3		レオ ファーマ（デンマーク）へ譲渡
			米国	申請 （2026年6月）	○	
		全身性強皮症	グローバル	フェーズ 2		
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33（IL-33）モノクローナル抗体製剤	ANCA関連血管炎	日本	フェーズ 1	○	トレランス バイオ（米）へ導出
MT-3534	抗体製剤	自己免疫疾患	日本	フェーズ 1		ファーマフーズ（日）と共同で創製

がん

治験コード 製品名 （一般名）	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-2111 (ロンカスツキシマブ テシリン)	抗CD19抗体薬物複合体	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（単剤療法）	日本	フェーズ 1/2		ADCセラピューティクス（スイス）から導入
		再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（リツキシマブとの併用療法）	日本	フェーズ 3		ADCセラピューティクス（スイス）から導入、 共同開発（グローバル試験実施中）
MT-4561	BRD4分解誘導	進行性固形がん	グローバル	フェーズ 1/2		自社創製品

その他

治験コード 製品名 （一般名）	作用機序等	予定適応症	地域/国	開発段階	変更点	起源/導出先等
MT-1803	6種混合ワクチン	百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ、Hib感染症およびB型肝炎の予防	日本	フェーズ 3	○	阪大微生物病研究会（日）と共同開発